

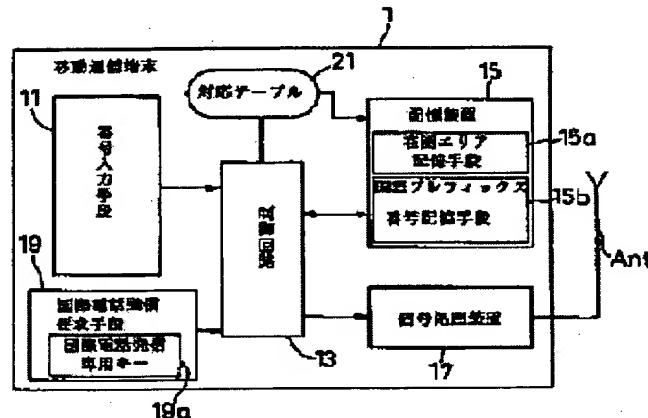
## SYSTEM AND DEVICE FOR AUTOMATIC SETTING OF NUMBER

**Patent number:** JP8163639  
**Publication date:** 1996-06-21  
**Inventor:** NAKAJIMA AKIKO; YABUSAKI MASAMI; MARUYAMA YASUO  
**Applicant:** NIPPON TELEGRAPH & TELEPHONE  
**Classification:**  
 - **international:** H04Q7/38; H04M1/27  
 - **european:**  
**Application number:** JP19940297583 19941130  
**Priority number(s):** JP19940297583 19941130

[Report a data error here](#)

### Abstract of JP8163639

**PURPOSE:** To obtain the system and device for automatic number setting which enables a user to make an international call without paying attention to the origination country (or international prefix number). **CONSTITUTION:** This is the automatic number setting device of a mobile communication terminal 1 which monitors announcement information announced by a mobile communication network, and is equipped with a detecting means which detects the international prefix number of the country wherein the mobile communication terminal 1 is present on the basis of announcement information before or when making an international telephone call, a storage means 15a which stores the international prefix number of the origination country detected by the detecting means, and an international telephone origination request means 19 which makes a request for international telephone origination by using the international prefix number stored in the storage means 15a.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

**Excerpt from Japanese Patent**

**Laid-Open Publication No. Hei 8-163639**

[What is Claimed Is:]

- 5 [Claim 1] An automatic number setting method for a mobile communication terminal for monitoring information notified by a mobile communication network, wherein, before or at the time of originating an international telephone call, an international prefix number of a country where the mobile communication
- 10 terminal is situated is previously detected based on the notified information, to send a request for the international telephone call using the international prefix number for the country where the mobile communication terminal situated.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-163639

(43)公開日 平成8年(1996)6月21日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 04 Q 7/38

H 04 M 1/27

H 04 B 7/ 26

109 Q

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平6-297583

(22)出願日 平成6年(1994)11月30日

(71)出願人 392026693

エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社  
東京都港区虎ノ門二丁目10番1号

(72)発明者 中島 亜紀子

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・  
ティ・ティ移動通信網株式会社内

(72)発明者 藤崎 正実

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・  
ティ・ティ移動通信網株式会社内

(72)発明者 丸山 康夫

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・  
ティ・ティ移動通信網株式会社内

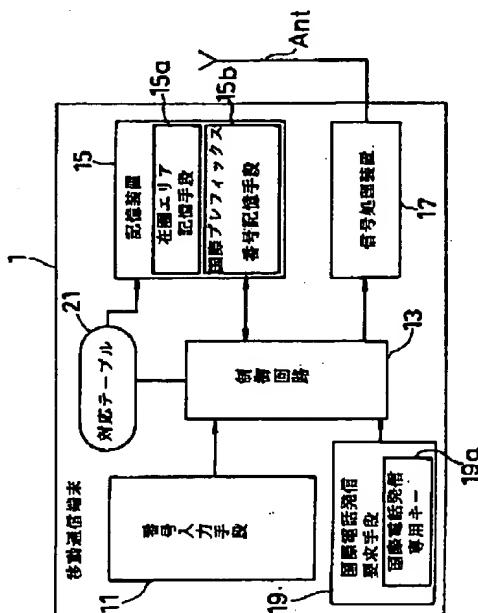
(74)代理人 弁理士 三好 秀和 (外3名)

(54)【発明の名称】 番号自動設定方式及びその装置

(57)【要約】

【目的】 本発明は、ユーザが在園国（若しくは国際プレフィックス番号）を意識することなく国際電話を発信することのできる番号自動設定方式及びその装置を提供することを目的とする。

【構成】 移動通信網が報知する報知情報を監視する移動通信端末における番号自動設定装置であって、国際電話発信の前、若しくは発信時に前記報知情報をもとに当該移動通信端末が在園する国の国際プレフィックス番号を検出する検出手段と、この検出手段で検出された在園国（国際プレフィックス番号）を記憶する記憶手段と、この記憶手段に記憶される国際プレフィックス番号を使用して国際電話発信要求する国際電話発信要求手段とを備えて構成される。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 移動通信網が報知する報知情報を監視する移動通信端末における番号自動設定方式であって、国際電話発信の前、若しくは発信時に、予め前記報知情報をもとに移動通信端末が在籍する国の国際プレフィックス番号を検出し、この検出された在籍国の中の国際プレフィックス番号により国際電話発信要求することを特徴とする番号自動設定方式。

【請求項2】 移動通信網が報知する報知情報を監視する移動通信端末における番号自動設定装置であって、国際電話発信の前、若しくは発信時に前記報知情報をもとに当該移動通信端末が在籍する国の国際プレフィックス番号を検出する検出手段と、この検出手段で検出された在籍国の中の国際プレフィックス番号を記憶する記憶手段と、この記憶手段に記憶される国際プレフィックス番号を使用して国際電話発信要求する国際電話発信要求手段とを有することを特徴とする番号自動設定装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、国際プレフィックス番号を使用して国際ダイヤル通話を行うための番号自動設定方式及びその装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来の移動通信端末の構成を図5に示す。この図5に示す移動通信端末101において、番号入力手段111は送信先の電話番号を入力する部分である。また、記憶装置115は、移動通信端末101の在籍エリアを記憶する部分であり、これは移動通信端末101から網側に位置登録を要求する場合に必要とされる。制御回路113は、網側からの報知情報を監視して記憶装置115の在籍エリア情報の書き換えを行い、また番号入力手段111から番号入力があった場合に番号入力が全て終わるまで発信しないように待ち時間制御を行うための回路である。信号処理装置117は、移動通信端末101からの信号を網側に送信するために必要な信号の変復調処理、信号の増幅等を行う部分である。

【0003】 このような従来の移動通信端末101にあっては、移動通信網が報知する報知情報を受信し、信号処理装置117で処理することで在籍エリアを知ることができる。制御回路113は報知情報中の在籍エリアと移動通信端末101の記憶装置115に記憶されている在籍エリアとを比較し、異なる場合（例えば、移動通信端末101がエリアを跨いで移動した場合など）には、記憶装置115の在籍エリアを変更し、また移動通信網へ位置登録の要求を出す。

【0004】 次に、従来の移動通信端末101において発信を行う場合について説明する。この場合には、ユーザは番号入力手段111を用いて通信相手の電話番号を入力する。制御回路113は、この入力された電話番号

10

2

を含む発信信号を編集し、信号処理装置117に対して、この発信信号を無線区間に送信することを要求する。網側は前記発信信号を受けることにより、該移動通信端末101が発信したことを知り、通常の発信制御を開始する。

【0005】 次に、国際電話の発信を行う場合について説明する。従来方式においては、

(1) 網側に国際電話の発信を告知するために必要な国際プレフィックス番号

(2) 通信相手の国番号

(3) 通信相手の番号

を(1)～(3)の順番でユーザが番号入力手段111を用いて番号入力する。

【0006】 この国際プレフィックス番号は、一般的には国により異なるため、ユーザは移動通信端末101から国際電話を発信する場合に、ユーザの在籍する国を自分で判別し、この在籍国の中の国際プレフィックス番号を予め調べた後に、当該国の中の国際プレフィックス番号を入力する。

20 【0007】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来方式においては移動通信端末から国際電話を発信する場合には、ユーザが各国の国際プレフィックス番号を予め調べて記憶しておく必要があり、かつユーザが在籍国を常に気にとめなければならないという煩わしさがある。さらに、移動通信端末のユーザは自由に各国間を移動できることから常に在籍国（若しくは国際プレフィックス番号）を把握するのは難しいという問題がある。特に、国境付近の移動通信端末から発信する場合には、信号がどの国の基地局に受信されるか分からない場合もあり、このようなときにユーザがその基地局の在籍国を判断するのは困難である。

30

【0008】 本発明は、上記課題に鑑みてなされたもので、ユーザが在籍国（若しくは国際プレフィックス番号）を意識することなく国際電話を発信することのできる番号自動設定方式及びその装置を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため本願第1の発明は、移動通信網が報知する報知情報を監視する移動通信端末における番号自動設定方式であって、国際電話発信の前、若しくは発信時に、予め前記報知情報をもとに移動通信端末が在籍する国の国際プレフィックス番号を検出し、この検出された在籍国の中の国際プレフィックス番号により国際電話発信要求することを要旨とする。

40

【0010】 また、本願第2の発明は、移動通信網が報知する報知情報を監視する移動通信端末における番号自動設定装置であって、国際電話発信の前、若しくは発信時に前記報知情報をもとに当該移動通信端末が在籍する

50

3

国の国際プレフィックス番号を検出する検出手段と、この検出手段で検出された在圏国の国際プレフィックス番号を記憶する記憶手段と、この記憶手段に記憶される国際プレフィックス番号を使用して国際電話発信要求する国際電話発信要求手段とを有することを要旨とする。

## 【0011】

【作用】本願第1の発明の番号自動設定方式は、国際電話発信の前、若しくは発信時に、移動通信網が報知する報知情報をもとに、予め移動通信端末が在圏する国の国際プレフィックス番号を検出するので、この検出された在圏国の国際プレフィックス番号を自動的に編集して国際電話発信要求を行う。

【0012】本願第2の発明の番号自動設定装置は、国際電話発信の前、若しくは発信時に移動通信網が報知する報知情報をもとに移動通信端末が在圏する国の国際プレフィックス番号を検出手段により検出し記憶手段に一旦記憶する。国際電話発信に際して、国際電話発信要求手段は記憶手段に記憶される国際プレフィックス番号を使用して国際電話発信要求する。

## 【0013】

【実施例】以下、本発明に係る一実施例を図面を参照して説明する。まず、図1のブロック図を参照して本発明に係る番号自動設定方式が適用される移動通信端末の第1の実施例について説明する。第1の実施例の移動通信端末1は、番号入力手段11、制御回路13、記憶装置15、信号処理装置17、国際電話発信要求手段19、対応テーブル21及びアンテナAntによって構成されている。また、記憶装置15は在圏エリア記憶手段15aと国際プレフィックス番号記憶手段15bとを備えており、国際電話発信要求手段19は国際電話発信専用キー19aを備えている。

【0014】次に、この第1の実施例に示す国際プレフィックス番号記憶手段15bにおける在圏国の国際プレフィックス番号を記憶する際の記憶手順について図2を参照して説明する。移動通信端末1は、在圏エリアと在圏国の国際プレフィックス番号をそれぞれ在圏エリア記憶手段15a、国際プレフィックス番号記憶手段15bに記憶している。移動通信端末1の制御回路13は移動通信網3からの報知情報に含まれる在圏エリアと移動通信端末1が記憶している在圏エリアを常に比較し、それらが異なる場合には記憶装置の在圏エリアを更新し、移動通信網へ位置登録要求を出すと共に対応テーブル21へ在圏エリアにおける国際プレフィックス番号の検索要求を出す。対応テーブル21は、検索要求を受けると在圏エリアの番号から国際プレフィックス番号を検出し、国際プレフィックス番号記憶手段15bの情報の書き換えを行う。

【0015】なお、上記には対応テーブルが最初から読み出し専用のメモリに記憶されている場合を説明したが、その他にも対応テーブルを書き換えるインターフェ

ースを移動通信端末に持たせユーザが自由に書き換えられる場合も考えられる。

【0016】次に、本発明を適用した移動通信端末を用いて国際電話を発信するときの手順を図3を参照して説明する。まず、ユーザは国際電話発信専用キー19aを入力する。これにより制御回路13は、国際プレフィックス番号記憶手段15bから読み出した在圏国に適した国際プレフィックス番号と、入力された電話番号とを含む発信信号を編集する信号処理装置17に対して、この発信信号を無線区间に送信することを要求する。次に、従来と同様の方式より網側へ信号方式を送出する。網側は前記発信信号を受けることにより該移動通信端末1が国際電話を発信したことを知り国際電話発信制御を開始する。

【0017】また、日本のように国際プレフィックス番号を複数(001, 0041, 0061)持つ場合には、対応テーブルの中でも1国に対して複数の番号が対応し、移動通信端末1がこのような国に在圏する場合には、国際プレフィックス番号記憶手段15bは複数の番号を記憶することになる。この場合、国際電話の発信に際して、国際電話発信専用キー19aの入力により移動通信端末のディスプレイ部に、該当する国際プレフィックス番号(001, 0041, 0061)を表示し、その中から適宜、国際プレフィックス番号をユーザが選択することになる。また、このとき、それぞれの国際プレフィックス番号を使った場合の料金などの情報と共に表示するようにしても良い。さらに、移動通信端末1に国際電話発信キー19aを複数個設け、各キーにユーザの在圏国における国際プレフィックス番号を割り当て、ユーザがその中から選択するようにしても良い。

【0018】さらに、一旦、入力された通信相手の国番号、通信相手の加入者番号を記憶しておき、この入力された国番号等から最適な(具体的には料金が廉価、通信状態が良好等)国際プレフィックス番号を自動的に選択するようにしても良い。

【0019】次に、本発明に係る第2の実施例について説明する。上述した第1の実施例では報知情報に在圏エリアの番号のみを含んでいたが、報知情報に在圏エリアの情報とは別に在圏国の情報を持つことも可能である。この場合の移動通信端末1の構成を図4に示す。この場合は記憶手段15に在圏国の番号を記憶する在圏国番号記憶手段15cを設ける。報知情報の在圏国番号が在圏国番号記憶手段15cの情報と異なったときに、第1の実施例と同様の方法により国際プレフィックス番号記憶手段15bの国際プレフィックス番号を更新する。また、国際電話発信時の手順も第1の実施例と同様とする。

【0020】上述したように、本実施例によれば各国間を移動するユーザが国際電話の発信を行うときに、各国における国際プレフィックス番号をユーザが記憶し或い

5

はユーザが在圏国を把握する必要性が全くなくなり、発信に係る煩わしさ無くし利便性を向上することが可能となる。

【0021】尚、上記の実施例では国際プレフィックス番号が常に検出されるものとして説明したが、電波状態の不良、電源の投入直後等により、国際電話発信時に未だ国際プレフィックス番号が検索されておらず通信環境が整っていない場合には、LCD、LED、スピーカ等の任意の報知手段を用いて、その旨を報知するようにしても良く、或いは在圏国の国際プレフィックス番号が検索され通信環境が整ったときに報知手段により、通信相手の国番号、通信相手の加入者番号の入力のみで通信が可能である旨を報知するようにしても良い。

【0022】また、さらに上述した各実施例においては、移動通信端末に国際電話発信要求手段若しくは国際電話発信専用キーを設けるようにしたが、本発明はこれに限定されるものではなく、番号入力手段に設けられる入力キーを用いて国際電話発信要求を行うようにしても良い。具体的には、例えば「#」キーを3回だけ連続して入力する、あるいは「#」キーと「\*」キーとを交互に入力する等、数字キー、「#」キー及び「\*」キー等を適宜組み合わせて入力する。

【0023】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、ユーザが在圏国（若しくは国際プレフィックス番号）を意識することなく国際電話を発信することができ、利便性

6

が向上する等の効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る番号自動設定方式が適用される移動通信端末の第1の実施例の概略の構成を示すブロック図である。

【図2】図1に示した移動通信端末におけるプレフィックス番号の記憶手順を示す図である。

【図3】図1に示した移動通信端末における国際電話の発信時の動作手順を示す図である。

【図4】本発明に係る番号自動設定方式が適用される移動通信端末の第2の実施例の概略の構成を示すブロック図である。

【図5】従来の移動通信端末の概略の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

1 移動通信端末

1 1 番号入力手段

1 3 制御回路

1 5 記憶装置

1 5 a 在圏エリア記憶手段

1 5 b 国際プレフィックス番号記憶手段

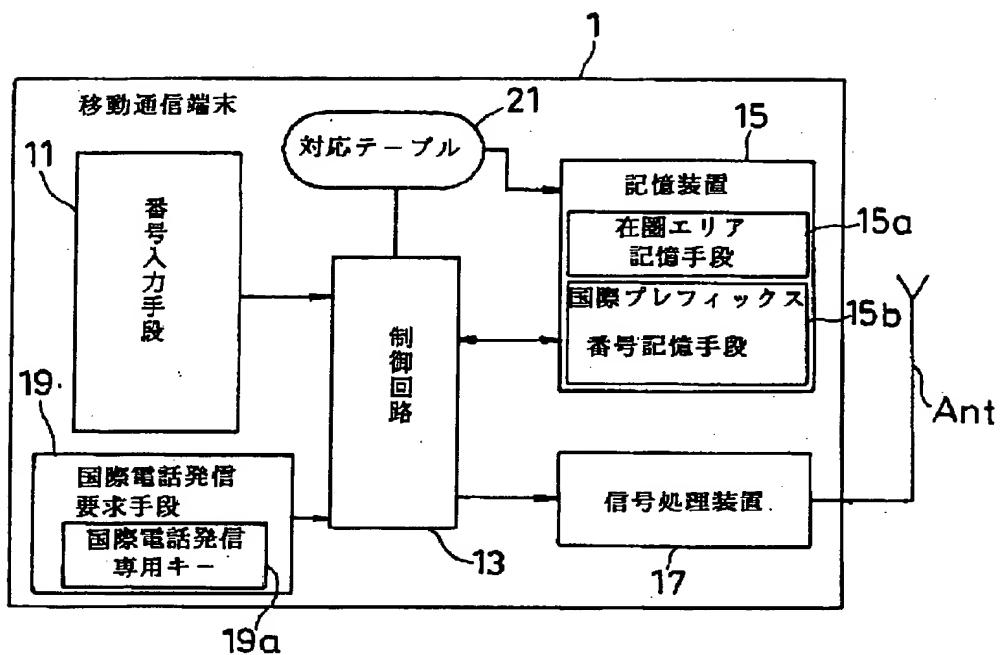
1 7 信号処理装置

1 9 国際電話発信要求手段

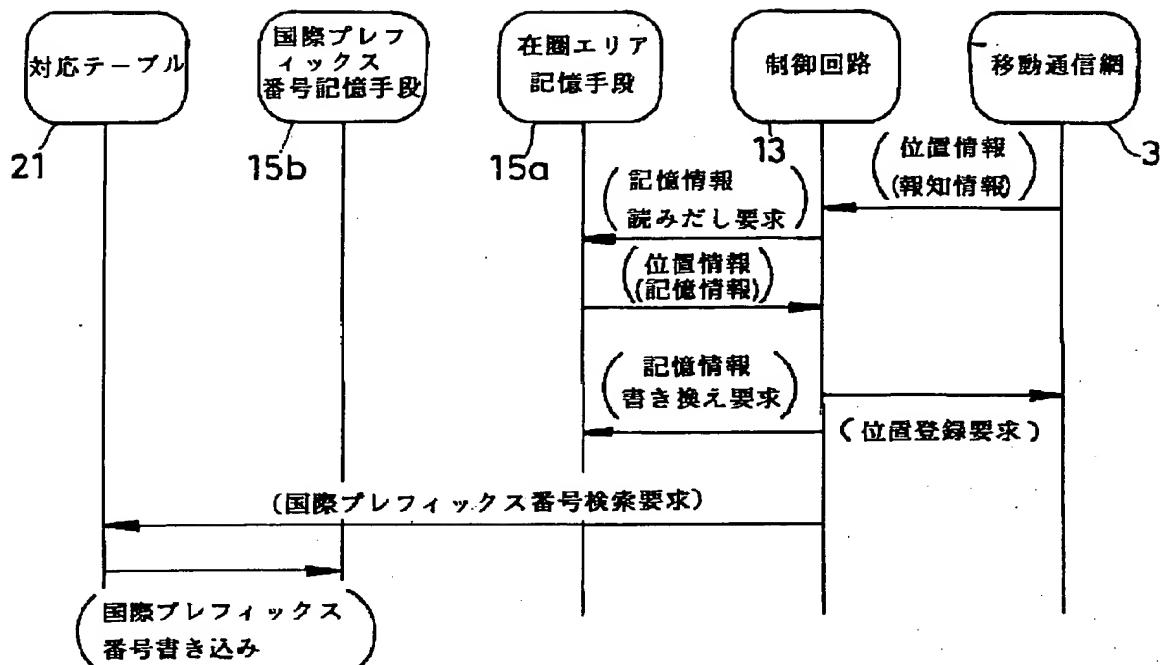
1 9 a 国際電話発信専用キー

2 1 対応テーブル

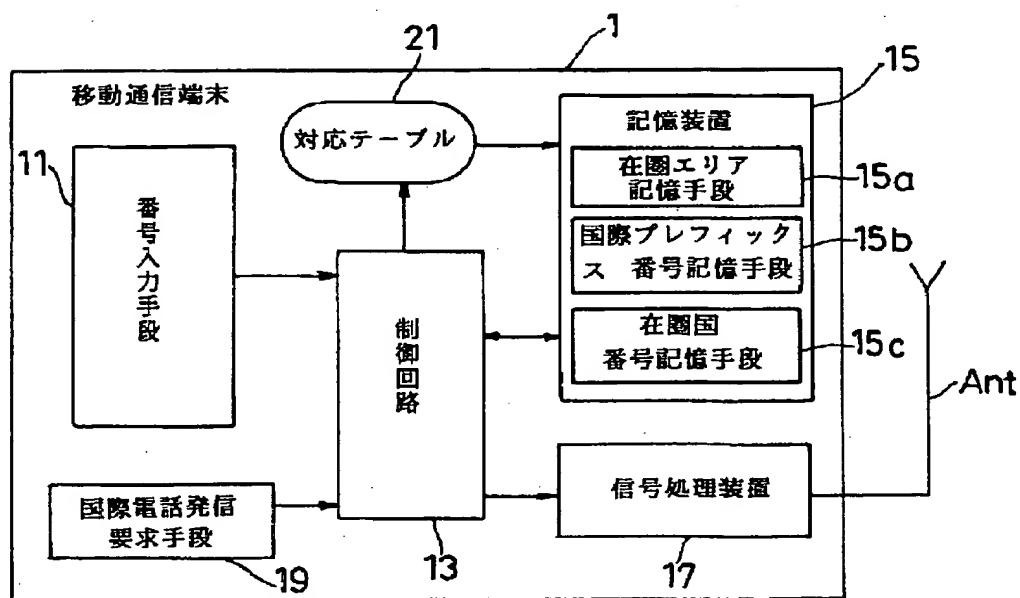
【図1】



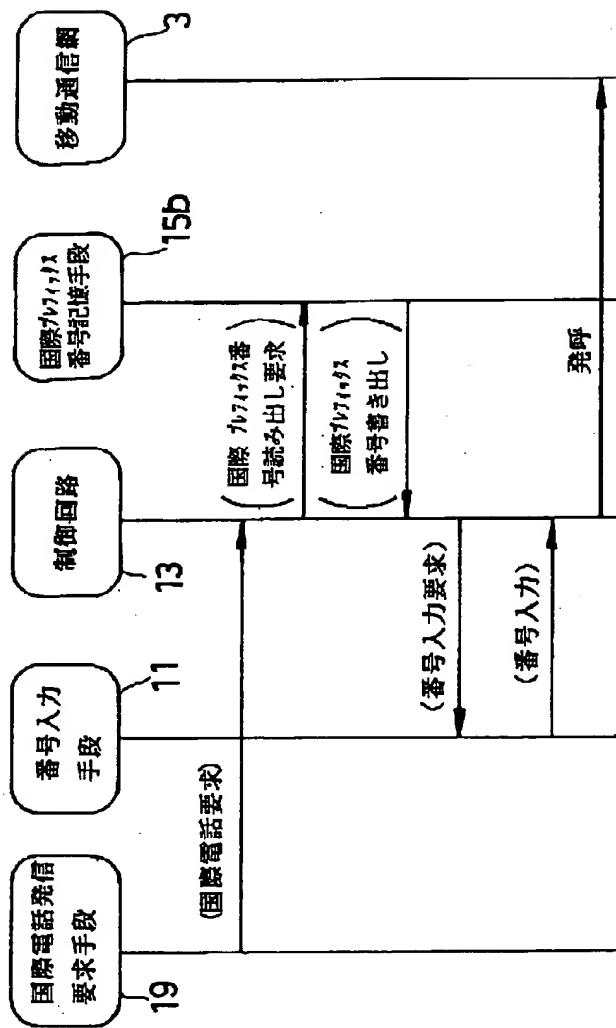
【図2】



【図4】



【図3】



【図5】

